

2019 シカ年度 エゾシカ捕獲事業計画（隣接地域） （確定版）

※第3期知床半島エゾシカ管理計画の管理目標：エゾシカの採食圧を軽減することにより、生物多様性を保全するとともに、地域住民とエゾシカの軋轢緩和を図る。

1) 経緯と方針

<経緯>

- ・北海道森林管理局では、2013（H25）シカ年度から遺産地域に隣接する宇登呂地区での捕獲事業を開始。2014（H26）シカ年度から遠音別地区、真鯉地区において捕獲事業を開始。2017（H29）シカ年度からは5年ぶりに春苺古丹地区での捕獲を実施
- ・わなによる捕獲は、囲いわな、箱わなに加え、2018（H30）シカ年度からくくりわなによる捕獲を実施
- ・囲いわなでの捕獲数が年々減少しており、理由としては警戒心の増加、局所的な生息数の減少が原因として考えられる
- ・遠音別地区及び真鯉地区については銃を用いた捕獲を2014（H26）シカ年度から実施

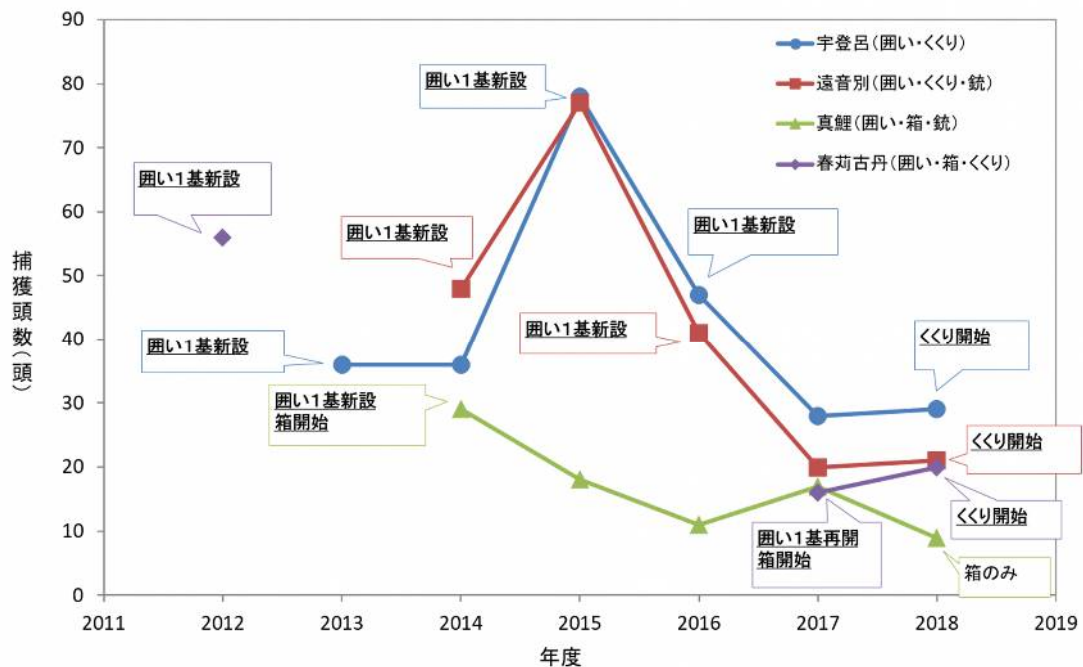


図 6-2-1. 2018（H30）シカ年度までの隣接地域におけるエゾシカ捕獲結果

<方針>

- ・希少猛禽類が高密度に生息していることから、捕獲方法はわなによる捕獲を主体とする
- ・銃猟禁止区域であるウトロ東からオシンコシンにかけては、2018（H30）シカ年度で捕獲効率の高かったくくりわなによる捕獲を主体とする
- ・囲いわなについてはオシンコシン2囲いわな、春苺古丹1囲いわな以外を休止する
- ・箱わなは春苺古丹のみで実施
- ・銃を用いた捕獲は巻き狩りを予定。地区は遠音別地区及び真鯉地区
- ・捕獲目標頭数は前年度実績を勘案して作成

2) 捕獲事業内容案

<全体>

- ・既存囲いわな（12月中旬～2月下旬）
オシンコシン2、春苺古丹で実施予定
- ・既存箱わな（12月中旬～2月下旬）
春苺古丹3基
- ・くくりわな（1月上旬～2月下旬）
4地区で実施予定
- ・巻き狩り（3月）
遠音別地区及び真鯉地区

2-1) 宇登呂地区

- ・くくりわな（ウトロ東囲いわな及び弁財崎囲いわな周辺）
捕獲目標頭数：30頭

2-2) 遠音別地区

- ・既存囲いわな（オシンコシン2囲いわな）
- ・くくりわな（オシンコシン2囲いわな周辺）
- ・銃による捕獲（予定）
捕獲目標頭数：30頭

2-3) 真鯉地区

- ・銃による捕獲（予定）
捕獲目標頭数：5頭

2-4) 春苧古丹地区

- ・既存囲いわな 1箇所 (春苧古丹 1 囲いわな)
- ・既存箱わな 3基 (春苧古丹 2 箱わな)
- ・くくりわな (春苧古丹川周辺)

捕獲目標頭数 : 30 頭